

「チルドレンズミュージアム in 都留」

—体験！発見！わくわくミュージアム—

夏休みの宿題は終わりましたか？ 夏休みに何かおもしろい思い出ができましたか？ 8月15日まで、ミュージアム都留では、いろいろな体験や発見、工作が楽しめる「チルドレンズ・ミュージアム in 都留—体験！発見！わくわくミュージアム—」を開催しています。みんなでミュージアム都留へ出かけて楽しみましょう！



会 期	8月15日(日) まで
開館時間	午前9時～午後4時30分(入館は4時まで)
観覧料金	一 般 300円(210円) 高・大学生 200円(140円) 小・中学生 100円(70円) ()内は20名以上の団体料金
※分館増田誠美術館と共通券です。	

関連イベント事業 工作教室開催！

日 時 8/1(日)、8/7(土)、8/8(日)、8/12(木)、8/13(金)、8/14(土)、8/15(日)

8/8は午後1時30分から。それ以外は午前9時から午後4時まで。

- ・紙飛行機をつくろう！ (1日100人限定) 材料費：200円
 - ・あやつり人形を作ろう！ (1日100人限定) 材料費：200円
 - ・風鈴を作ろう！ (1日50人限定) 材料費：300円
 - ・スライムをつくろう！ 会期中毎日作ります。 材料費：100円
- *申し込みは不要です。

特設展示

「ユニバーサルデザイン」って！？

本年度都留市では「ユニバーサルデザインを取り入れたまちづくり」を重要施策の1つとして位置づけ、具体的な方策やその推進に向けて取り組んでいます。でも「ユニバーサルデザイン」で聞きなれない言葉ですよ…。

そこで博物館では夏休み子ども企画展期間中(7/21～8/15)博物館入り口に「ユニバーサルデザイン」コーナーを設け、「ユニバーサルデザイン」の定義やユニバーサルデザイングッズ、都留市での取り組みなどを紹介しています。

「ユニバーサルデザイン」について学習してみませんか！？気軽にお越しください。

入場は無料です。

都留市は今年の4月29日に市制施行50周年を迎えました。このような記念すべき年は、市の歴史を振り返り、市の歩んできた道のりや関わりのある文化を見つめなおすのに好機ではないのでしょうか。

都留市博物館「ミュージアム都留」では、市制50周年記念特別展「谷村城下町とその時代を彩る文化」と題し、古くから城下町として、また山梨県東部の政治・経済・文化の中心として発展してきた都留市の歴史の中で、特に江戸時代前期の城下町にまつわる文化について様々な資料を展示し紹介いたします。代々幕府の要職につき、城下町の礎を築いた秋元氏三代とその時代を彩る数々の展示品をこの機会に是非ご覧ください。

市制50周年記念特別展 「谷村城下町とその時代を彩る文化」

会 期	8月28日(土)～11月3日(水)まで
開館時間	午前9時～午後4時30分(入館は4時まで)
観覧料金	一 般 600円(420円) 高・大学生 400円(280円) 小・中学生 200円(140円) ()内は20名以上の団体料金
休 館 日	毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は開館し翌日休館)・第3火曜日・祝日の翌日
※分館増田誠美術館と共通券です。	

問合先
都留市博物館
「ミュージアム都留」
☎ (45) 80008
FAX (45) 82011

骨董品を売買する蚤の市はパリが最初である。画伯は、蚤の市の情景を得意として、そこに集う人々の表情を活写している。

只今開催している「増田誠画伯作品とモチーフ展」では、画伯の絵画15点のほか、絵画の中にある、人形、ランプ、コーヒー挽き、トランプなどのモチーフ、画伯自作のレリーフなどのオブジェ、愛用した画材、遺品などを約70点展示しています。

人間味あふれる増田誠の絵画の世界と共に、今展示会でしか見られない画伯の貴重な資料を是非ご覧ください。



蚤の市 80号 1985年制作

市制50周年記念事業
「増田誠画伯作品とモチーフ展」好評開催中！